

緑豊かなコスタリカより（通信6号）

**コスタリカ特産コーヒーと  
電子顕微鏡の技術研修会の開催**

今回は、コスタリカ特産のコーヒーの話と赴任先での電子顕微鏡の「技術研修会」について皆さんへ紹介したいと思います。

コスタリカで有名なのはコーヒーです。たくさんの種類のコーヒーがあります。私もコスタリカのコーヒーが本当に好きになりました。今では毎日4～5回飲んでます。少し前、職場の友人がコーヒーのフェア（祭り）があり連れて行ってもらいました。



私が住むサンホセ市から南へ車で約4時間、Tarrizu（タリス）地区で年一回このフェアがあります。フェアでは多くのコーヒー生産者が自分達の作ったコーヒーを販売していました。それらの販売所ではお客様が自由にコーヒーを試飲することができ、私も仲間と一緒に、いくつも試飲をしてみました。最初は味の違いが少しは解っていましたが、もう3件以上になると違いが判らなく、コーヒーで腹いっぱいでした。この地区は1500mの山々一帯がコーヒー農園になっています。全ての山々がコーヒー農園です。



この地区から、日本へ直送している有名なのがカフェ・ドタ（Café Dota）コーヒーです。日本向けとして選ばれた生産者のコーヒーのみを、精製工場で加工し日本へ直送しています。このドタコーヒーは日本では多分高く売られていると思いますが、下の写真はコスタリカ向けに売られているものです。



さて、ここコスタリカ大学の電子顕微鏡センターでの活動も1年半が過ぎました。国際標準のISO認定を目指して活動していますが、この活動をしながら、昨年からの活動に追加したいと思っていた事がありました。それは、当センターの電子顕微鏡の利用率を上げる事です。コスタリカの中で電子顕微鏡の研究設備が唯一揃っている当センターですが、利用者が少なく、もっと電子顕微鏡を利用してほしいと思っていました。もちろん、ISO認定を取得すれば、コスタリカ国内ばかりでなく、中米の他の国からの当センター利用も拡大すると思われます。しかし、この認定への活動は未だ道半ばで、後2～3年は必要と思っています。そこで、私は過去5年間の利用実績を調べてみました。その結果、主な利用者は当大学の研究員や学生で、他大学の研究員、民間企業、病院などの利用者が非常に少ない状況でした。それで、当大学以外の人への利用をもっと拡大したいと考え、センター長や職場の人たちと話し合い、何度も会議を重ね今年1月「電子顕微鏡利用拡大」の提案書を作成し、大学審議会などで説明し承認されました。その後、職場仲間と準備などを重ねて、やっと7月「第一回技術研修会」を実施しました。研修会の講師は当センターの技術者が実施してくれました。研修期間は2週間で「電子顕微鏡の理論」の座学と、「電子顕微鏡の機能と操作」の実技を訓練します。

Foto: 第一回技術研修会の様子



Foto 実技の研修会の様子



第二回研修会を9月、第三回研修会を11月に計画しています。  
そして、この研修会は来年以降も毎年3～4回実施していく予定です。  
これらの研修会を終了した人たちが当センターの電子顕微鏡を利用し、微生物分野、生物分野、農業分野、医学分野や産業界における材料分野などの研究の促進に寄与できればと思っています。

JICAのホームページで私の活動記録が掲載されましたので、下記URLを参照ください。

<https://www.jica.go.jp/hotangle/america/costarica/20170829.html>

以上